

このリストは、図書館の職員が、3・4年生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。



品川図書館 北品川 2 - 3 2 - 3 3471-4667

二葉図書館 二葉 1 - 4 - 2 5 3782-2036

荏原図書館 中延 1 - 9 - 1 5 3784-2557

南大井図書館 南大井 3 - 7 - 1 3 3761-6780

源氏前図書館 中延 4 - 1 4 - 1 7 3781-6273

ゆたか図書館 豊町 1 - 1 7 - 7 3785-6677

大井図書館 大井 5 - 1 9 - 1 4 3777-7151

図書館サービスコーナー（五反田） 3492-2131

西五反田 7 - 2 2 - 1 7 TOCビル地下1階

五反田図書館は、平成20年7月より約2年間休館のため、上記の臨時窓口を開設しています。

大崎図書館 大崎 2 - 4 - 8 3495-0660

八潮図書館 八潮 5 - 1 0 - 2 7 3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

2008.10 発行

よんでみたいな！

3・4年



「ネズミ^{とう}父さん大ピンチ！」

ジェフリー・ガイ 作 ないとう ふみこ 訳
かつた しんいち 絵 とくま しよてん 徳間書店

品川区立図書館

「こんにちは、ビーバー」

佐藤 英治 文・写真
福音館書店

ビーバーって見たことある？どんな動物か知ってる？

水の中を泳ぐ。木をかじりたおす。ダムを作る。じゃあ、何のためにそんなことをするんだろう？

アラスカの大自然で暮らすビーバーの、たくさんの不思議が見られる本です。



「つばさをもらったライオン」

クリス・コノヴァー 作
遠藤 育枝 訳 ほるぷ出版

南の国のレオ王は、りっぱな宮殿にすみ、黄金もどっさりもっていて、なにふじゆうなく暮らしていました。

一つ気になることは、北の王の宮殿には、かべにふしぎな宝ものが、ずらりとならんでいる、といううわさでした。



「ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ」

ディック・キング＝スミス 作 三原 泉 訳
いとう ひろし 絵 あすなる書房



スカンピンさんの運のわるさといったら、びっくりするほどで、びんぼうになるばかりでした。

そんなスカンピンさんの、ワビシーネ農場に、ある日、金のガチョウが生まれました。それから、すてきなことがおこりましたよ…。

「ミツバチ」

栗林 慧 写真
日高 敏隆 総合監修 リブリオ出版



ミツバチのくらしの中には、いろいろな仕事がたくさんあるよ。みつや花粉をとってくるハチ、子育てをするハチ、巣を見張るハチ。1ぴきずつに役割があるんだ！

さあ、ミツバチの社会をのぞいてみよう。

「ふたりでおるすばん」

いとう ひろし 作
徳間書店



おとうとのだいちゃんは、うるさいしきたないし、おねえちゃんはいつこまっていた。

ある日、ふたりでおるすばんをすることになった。「あたしたちすてられたのよ！」だいちゃんをこまらせようと、ウソをついたおねえちゃんだったが…。

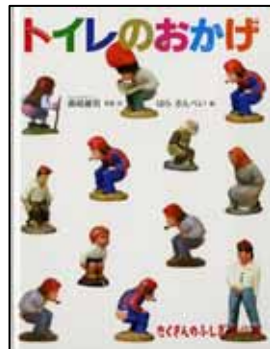
「トイレのおかげ」

もりえだ ゆうじ 写真・文
はら さんぺい 絵 福音館書店

トイレスタイルの人形が、売られているの、見たことある？

世界中の人が、毎日お世話になっているトイレにも歴史があります。

お城の中から宇宙船のトイレまで、楽しくて、まじめなトイレのお話です。



「公爵夫人のふわふわケーキ」

ヴァージニア・カール 作
灰島 かり 訳
平凡社



公爵夫人がやいたケーキは、ふわふわふくらみ続け、おしてもつねつてもとまりません。上にもってつぶそうとしたら、公爵夫人をのせたまま、どんどんふくらみ続けて…。

さあ、どうしたら下へおりることができるのでしょうか？

「アローハンと羊 - モンゴルの雲の物語 - 」

興安 作 蓮見 治雄 文・解説
こぐま社

少女アローハンと子羊は、
モンゴルはいつも一緒でした。
やがて結婚したアローハンは、
モンゴルとともに、あたらしい生活をはじめます。

ところが、ある春の晩、
草原に百年にいちどの大ふぶきがおそいました。



「虫のこどもたち」

新聞 孝 写真・文
福音館書店



りっぱな成虫になる日をめざして、幼虫たちは成長していきます。卵の形もいろいろ、成長していく姿もいろいろ。

虫のこどもたちの、おもしろくて、不思議な世界を探検しよう！

「ピトゥスの動物園」

サバスティア・スリバス 文
宇野 和美 訳
スギヤマ カナヨ 絵 あすなる書房

病気になった友達ピトゥスを救うために、5人のなかまが考えたのは、1日だけの動物園。入園料を治療費にあてるのだ。

自分たちで動物をつかまえ、おりを作り、準備をすすめます。さて、5人は開園することができるのでしょうか？



「ネズミ父さん大ピンチ！」

ジェフリー・ガイ 作 ないとう ふみこ 訳
勝田 伸一 絵 徳間書店



人間の家の壁の中にすんでいる、ハツカネズミのアナクグリー家。ある日、この家に黒ネコハンニバルがやってきた！

毒入りエサ・ネズミとり・人間、そしてハンニバル。アナクグリー一家に危険がせまる！

「ディック・ウィットントンとねこ」

(イギリスの昔話)

マーシャ・ブラウン 再話・絵
まつおか きょうこ 訳 アリス館

ディックは貧乏で、いつもくろうばかりしていました。

ロンドンでやっとはたらけることになったけど、よるになると、ねずみがうじゃうじゃでてきて、ねむれません。

そんなある日、ディックが買ったものは…。

